

化学療法誘発性末梢神経障害を有する外来がん患者における 緩和ケアチームと薬物療法センターの連携実態と課題

京都府立医科大学附属病院看護部では、診療録（カルテ）を使って抗がん剤治療に伴う末梢神経障害(化学療法誘発性末梢神経障害)に関する臨床研究を実施しております。

本研究の実施にあたり、京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

【研究の目的】

抗がん剤治療に伴う末梢神経障害によるしびれや痛みは、重症化すると日常生活に大きな支障をきたし、治療の継続が困難となる場合があります。そこで、疼痛緩和の専門知識を有し、心理社会的支援など包括的なケアを提供する緩和ケアチームが、抗がん剤治療に伴う末梢神経障害のある患者さんの症状マネジメントに関与することで、生活の質(QOL)向上や治療継続率の改善が期待されます。

本研究では、抗がん剤治療に伴う末梢神経障害や痛みがある方に対する、緩和ケアチームと薬物療法センターの連携支援の実態を明らかにし、今後の診療や看護の質向上に役立てることを目的としています。

【対象となる方について】

2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日に、京都府立医科大学附属病院の薬物療法センターで抗がん剤治療を受けられた方

【研究期間】

医学倫理審査委員会承認後～2027 年 3 月 31 日

【情報の利用開始予定日】

利用開始予定日：医学倫理審査委員会承認日（2025 年 8 月 21 日）

＊承認前に日常診療で記録された既存の診療録（2024 年 4 月 1 日～承認日まで）を含めて使用します。

【研究の方法】

京都府立医科大学附属病院の薬物療法センターで抗がん剤治療を受けられた方の診療録から以下の情報を取得し、緩和ケアチームと薬物療法センターの連携による支援の実態の現状を記述的に整理・分析します。

- ・薬物療法センター症状チェックシートにおける末梢神経障害や痛みの有無
- ・抗がん剤治療の治療歴
- ・末梢神経障害や痛みの経過
- ・緩和ケアチームと薬物療法センターの連携支援の有無や内容 等

【個人情報の取り扱いについて】

患者さんの診療録をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日、住所等の患者さんを直接特定できる情報は削除し、研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。また、この研究の成果を発表する場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

この研究で得られた情報は、研究責任者（京都府立医科大学附属病院看護部 杉浦康代）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

【研究資金及び利益相反について】

利益相反とは、寄附金の提供を受けた特定の企業に有利なようにデータを操作する、都合の悪いデータを無視するといった、企業等との経済的な関係によって、研究の公正かつ適正な実施が損なわれるまたは損なわれているのではないかと第三者から懸念される状態をいいます。本研究に関する利益相反については、京都府公立大学法人の利益相反に関する規程、京都府立医科大学の臨床研究に係る利益相反に関する規程等に当たって管理されています。

なお、本研究の実施にあたり、開示すべき利益相反はありません。

【研究組織】

研究責任者：京都府立医科大学附属病院 緩和ケアセンター看護師 杉浦 康代

共同研究者：京都府立医科大学附属病院 看護部 菅谷 和子

京都府立医科大学附属病院 看護部 酒井 慈水

京都府立医科大学附属病院 薬剤部 田淵 祐輔

京都府立医科大学附属病院 疼痛・緩和医療部 高橋 紗也子

京都府立医科大学 麻酔科学教室 疼痛・緩和医療部 大屋 里奈

【お問合せ先】

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026 年 12 月 31 日までに下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学附属病院 緩和ケアセンター看護師 杉浦 康代（すぎうら やすよ）

電話：070-6507-0932

受付可能時間帯：月曜～金曜 8時～16時（年末年始を除く）